

凡事徹底(縁)

八代第一中学校

生徒指導通心

第32号 2024. 2. 9 (金)

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践 綱領：至誠貫徹・真理探究・耐久持続
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』
スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦 一中プライド～

『生徒指導2月目標』心を傾けて聴く 聴く力＝傾聴力

【凡事徹底】意識するポイント ①姿勢を整え相手を見て
②相手の話に共感しよう ③心で受け止め自ら動こう

みんなが安心して笑顔で過ごせる学校～執行部も頑張っています～

みんなの心が一つになってきました！
一中が目指す方向性が揃ってきました



1、2月の月目標の一つは「挑戦、明確な目標を立てる」です。さて、みなさんは、何か目標を立てることができましたか。その目標に向かって努力することはできていますか。3年生は高校入試があり、1、2年生は学年末テストが控えています。2月14日と15日には、学習会を計画しています。学力アップに向けて、みんなで挑戦していきましょう。

もう一つの目標は、「尊重、お互いを認め合う」です。相手を尊重するためにはまずお互いを知ることが大切です。先日は、お互いを認め合う「気付きの木」の取組を行いました。みなさんは仲間の良さやすてきな部分に気づけていますか。人は誰でも間違ったり、失敗したりすることがあります。そんなときでも、お互いに声をかけ合い、やさしい心にあふれる集団になっていきたいですね。【生徒会庶務より 2024.2.5】

緊張感を楽しむ！～自分自身が本気になる証拠です！～ 松岡修造～

みなさんは「緊張感」というものを、一度ならず、二度三度と経験したことがあると思います。通心32号では、元テニスプレイヤーの松岡修造さんの著書から、一部を抜粋して紹介します。

緊張するのは自分自身が本気になる証拠です。僕自身テレビ番組や講演会など人前で話すときは、今でもかなり緊張しています。手が氷のように冷たくなり、心臓の鼓動が聞こえるときもあります。でも、緊張している状態は嫌いではありません。極度に緊張するのは、「この思いをしっかりと伝えたい」、「この試合は絶対に勝ちたい」、そんな気持ちが強いからです。中途半端だったら緊張しないはず。自分が本気になる証拠ですから、「緊張してきたよ。どうしよう」と不安を覚えてはいけません。逆に「緊張してきた。よっしゃあ」というくらい自分を応援したり喜んじましょう。人前で緊張するのは人間の自然な反応です。特異な反応ではありません。自分の本気を真っ直ぐぶつける位の気持ちで目の前のことに取り組んで下さい。そういうシーンを乗り越えると人は強くなります。『松岡修造の人生を強く生きる83の言葉』

「夢実現・自己実現」コーナー～鉄板ルール①返事は0.2秒で～

人からものを頼まれたとき、頭の中で損か得か？出来そうか難しいか？と考えて返事をする傾向がある。だから返事が遅い。目の前の人には「ノー」はない姿勢を示し「イエス」の返事をする。その姿勢に人は感動する。※通心32号より学級担任として生徒に話してきた鉄板ルールから5つを紹介していきます。